

**京都府生涯現役クリエイティブセンター**  
**令和3年度 リカレント研修シラバス**

**令和3年8月**

令和3年度生涯現役クリエイティブセンター研修シラバス

【1～4コース受講者必須】

研修コースタイトル	
意識改革研修 オープニングセミナー	
研修講師氏名	
龍谷大学教授 中森 孝文	
研修日程・趣旨等	
<p>9月9日(木) 14:00～16:00 (会場：TKPガーデンシティ京都を予定)</p> <p>オープニングセミナーとして、選択コース1～4受講の方を必須参加とした講座を開催します。龍谷大学の中森先生に「中小企業の知恵のマネジメント 無形の強みと不合理との関係性を理解する」をテーマにお話しいただき、人生100年時代に向けての学び直し、新たな気付きのヒントをいただきます。</p>	

【任意受講】

研修コースタイトル		
意識改革研修		
研修講師氏名		
株式会社日本マンパワー 奥村 達志		
研修趣旨・受講目的		
<p>人生100年時代を生き抜き輝き続けるためには、「自らのキャリアは自らが形成する」というキャリアオーナーシップの意識を持つことが必要です。本講座では、自己分析を通じて自分の強みやモチベーションの源泉、大切にしている価値観の確認等を行い、各研修受講の目的意識を明確にすることで今後のキャリアプランの見直しにつなげます。</p>		
各日程内容 ※会場は京都経済センターを予定		
1	<p>Aコース ：9月17日(金)</p> <p>Bコース ：10月8日(金)</p>	<p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生100年時代におけるキャリアとは</li> </ul> <p>2 自己分析(その1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生を振り返って(ライフ・ライン・チャートによる)</li> <li>・自分の強みを把握しよう</li> </ul>
2	<p>Aコース ：9月27日(月)</p> <p>Bコース ：10月15日(金)</p>	<p>3 自己分析(その2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モチベーションの源泉を探ろう</li> <li>・(人生)選択の基準となる自分の価値観を確認しよう</li> </ul>
		<p>※ 1コース2回構成です。A,Bご都合のよいコースを選択ください。</p> <p>※ 開催時間はいずれも、13:30-16:45 です。</p>
このコースで目指す姿・修了後のあり方		
受講者が自らのキャリアを描くことの重要性に気づき、主体的に研修に参加する意識が高まっている状態を目指します。		
事前知っておくべき内容・学習文献等		
1回目事前課題あり		

## 令和3年度生涯現役クリエイティブセンター研修シラバス

<b>研修コースタイトル</b>		 
"Reborn"キャリアのブラッシュアップコース		
<b>研修講師氏名</b>		
龍谷大学教授 中森 孝文 公認会計士 安藤 亮史		
<b>研修趣旨・受講目的</b>		<p style="text-align: center;">中森 孝文 先生                      安藤 亮史 先生</p>
<p>本研修では、企業の競争力の源泉(強み)の眺め方を、マーケティング、マネジメント、ファイナンス・アカウンティングの視点から学び、強みの維持・強化・活用のストーリーを作成する。当該ストーリーの作成を通じて、会社の強みと自身の強みがどのように影響しているのかに気づき、今後の強み活用ストーリーへの自身の貢献に関するキャリアプランを描くことを目的とする。</p>		
<b>各日程内容 ※会場は京都経済センターを予定</b>		
1	10月28日(木) 13:30-16:45	オリエンテーション (強みの眺め方とワークショップ：マーケティングの視点から)
2	11月11日(木) 13:30-16:45	自社の強みの成り立ちを分析する (宿題発表：自社の強み、強みの成り立ちを考えるワークショップ：マネジメントの視点から)
3	11月22日(月) 13:30-16:45	自社の課題と解決法 (宿題発表：自社の強みの成り立ち、課題解決法を考えるワークショップ：マーケティングとマネジメントの視点から)
4	12月10日(金) 13:30-16:45	財務の理解と自社財務分析 (財務の基本的な仕組みを理解したうえで、自社の財務を分析する)
5	1月13日(木) 13:30-16:45	課題解決策が財務に与える影響を理解する (課題解決策が自社の損益及び資金に与える動きを理解し、財務的裏付けをする)
6	2月5日(土) 9:30-16:45	成果発表 自社の強みの維持・強化・活用のストーリーと、それに貢献する自身のキャリアプランを発表する(ストーリーには、マーケティング、マネジメント、ファイナンス・アカウンティングの視点から裏付けし、説得力のあるストーリーを作成する)
<b>このコースで目指す姿・修了後のあり方</b>		
自社の強み(特に可視化が難しい無形の強み)に気づき、それを活用して付加価値に変えることができる能力を修得し、経営者目線での強みのマネジメントができる人材となる。		
<b>事前に知っておくべき内容・学習文献等</b>		
自社の歴史、文化、事業の強み、人事戦略、財務について、一通り眺めておくことが望ましい。知識よりも研修参加への真摯な姿勢が求められる。		

## 令和3年度生涯現役クリエイティブセンター研修シラバス

<b>研修コースタイトル</b>		
ニューフロンティア挑戦コース		
<b>研修講師氏名</b>		
京都産業大学准教授 伊吹 勇亮		
<b>研修趣旨・受講目的</b>		
<p>意識改革研修を経て自身のエンプロイアビリティについて確固たる認識を持った方を対象に、実際に中小企業が抱えている課題を解決することを通じて、自身がこれまで培ってきた知識や能力が異なるシチュエーションにおいても発揮できるようになることを目指します。受講者(5人程度)がチームで解決策の検討に取り組みます(研修日は講師や課題提供機関を交えての議論を中心とし、その他の時間にチームで主体的に活動を進めていただきます)。</p>		
<b>各日程内容 ※会場は主に京都経済センターを予定</b>		
1	10月21日(木) 13:00-16:15	<b>オリエンテーション</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決型学習(PBL)の概要ならびに研修の進め方の説明</li> <li>・受講生自己紹介、チーム分け</li> <li>・課題テーマ提示(課題提供企業からのプレゼン)</li> </ul>
2	11月4日(木) 14:00-16:30 (現地滞在時間の み)	<b>企業訪問</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提供企業の現場訪問、現場視察ならびに担当者との意見交換</li> <li>・解決に向けた方向性議論</li> </ul> ※企業訪問先まで前後各1時間程度マイクロバスを用いて移動します。
3	11月25日(木) 13:30-16:45	<b>中間フォロー①</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当講師が進捗状況に応じてアドバイス</li> <li>・解決策検討に必要な知識やスキルを担当講師からレクチャー</li> </ul>
4	12月16日(木) 13:30-16:45	<b>中間発表</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者、講師、課題提供企業での中間確認</li> </ul>
5	1月20日(木) 13:30-16:45	<b>中間フォロー②</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当講師が進捗状況に応じてアドバイス</li> <li>・解決策検討に必要な知識やスキルを担当講師からレクチャー</li> </ul>
6	2月20日(日) 13:30-16:45	<b>成果発表</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する解決策を発表</li> </ul> * 中間発表時メンバーに加え、ゲスト参加者を検討中
<b>このコースで目指す姿・修了後のあり方</b>		
人生100年時代において、どのような場面においてもこれまでの経験を活かして活躍することができるようになる。		
<b>事前を知っておくべき内容・学習文献等</b>		
意識改革研修を通じて自身の持つ知識・スキル・能力の棚卸しを事前に実施しておいてください。		

伊吹 勇亮 先生

## 令和3年度生涯現役クリエイティブセンター研修シラバス

<b>研修コースタイトル</b>		
シニアベンチャー育成コース		
<b>研修講師氏名</b>		
京都大学名誉教授 立命館大学教授 オルバイオ株式会社代表取締役 山口 栄一		
<b>研修趣旨・受講目的</b>		
<p>イノベーションに基づくブルーオーシャン起業の方法論を考察する。破壊的イノベーションの源泉は何か、そしてそれを如何に価値創造につなげていくかについて、体系的な理論を展開する。イノベーションにとって最重要の次元が「創発」(abduction)にあることを理解して、受講生一人一人が会社起こしを実践する。</p>		山口 栄一 先生
<b>各日程内容 ※会場は主に京都経済センターを予定</b>		
1	10月21日(木) 13:30-16:45	イノベーションに基づく起業がブルーオーシャンであるためには、そのイノベーションがどのような特徴と構造を有するか、それを分析する。
2	11月11日(木) 13:30-16:45	破壊的イノベーションとは何かについて詳しく調べる。
3	11月18日(木) 13:30-16:45	ケーススタディとして、青色発光ダイオードを分析する。
4	12月2日(木) 13:30-16:45	ケーススタディとして、私自身が起業したオルバイオ株式会社を考察し、そこで展開している「がん征圧の第5の方法」を分析する。
5	12月23日(木) 13:30-16:45	全員の発表
<b>このコースで目指す姿・修了後のあり方</b>		
みずからの技術で、起業を実践する能力を身に着ける。		
<b>事前を知っておくべき内容・学習文献等</b>		
山口栄一, 『イノベーションはなぜ途絶えたかー科学立国日本の危機』 ちくま新書 1222,筑摩書房,2016年12月		

## 令和3年度生涯現役クリエイティブセンター研修シラバス

<b>研修コースタイトル</b> 地域・社会貢献人材育成コース		 <p>京都府災害ボランティアセンター</p>  <p>京都府社会福祉協議会 ・京都府災害ボランティアセンター 東直美様、代表 余田正典様、足立隆司様</p> <p>京都府介護福祉士会 岡本匡弘様</p>
<b>研修講師氏名</b> 京都府社会福祉協議会・京都府災害ボランティアセンター 京都府介護福祉士会		
<b>研修趣旨・受講目的</b> <防災> 災害ボランティアセンターの機能や役割、災害ボランティアのいろはを学び、受講者が地域とのつながりを感じながらボランティア活動を行うことで、地域社会の1人としての存在を發揮できることを目指す。 <介護> 理解力や判断力等の十分ではない方や、環境の変化などで戸惑っている方等を理解する力を身につける。また、観察する視点や考える視点などを意識する。そして、人間の自然な身体をつかい方を理解し、他者を支援する際に少しでも負担の少ない技術を意識する。		
<b>各日程内容 ※会場は主に京都経済センターを予定</b>		
1	<防災> 10月19日(火) 13:30-16:45	
2	<防災> 11月2日(火) 13:30-16:45	【講義】災害ボランティアセンター(ボランティアセンター)の役割と機能 ～平常時の繋がりを通じて、災害時での活動や地域の担い手として参画～ 【演習】クロスロード ～あなたならどうする～
3	<介護> 11月25日(木) 13:30-16:45	理解力や判断力等の十分ではない方を理解する。そして、適切な支援とは、どのようにすることなのかを意識できるようになる。また、相手の変化に気づく視点を考える。
4	<介護> 12月3日(金) 13:30-16:45	人間の自然な身体をつかい方を理解し、自分自身の身体をつかい方はもとより、相手の身体をつかい方も意識したかわり方を考える。
5	<防災/介護> 12月21日(火) 13:30-16:45	地域・社会貢献人材育成コースの4日間で学んだこと、考えたことを場面を設定して、受講者で実際に行ってみる。そして、頭での理解から体感へとつなげていく。新たな自分を見つめてみる。 【演習】目黒メゾット ～対象者ごとに福祉的な観点でどのような動きや支援が必要か～ 災害時に刻々と変化する被災地での状況を把握しながら、私たち(所属団体)は、対象者ごとに、福祉的な観点でどのような携わりが必要か、時間軸を中心に支援のあり方を検討していく。
<b>このコースで目指す姿・修了後のあり方</b>		
<防災> 災害ボランティアの基礎を学ぶことで、災害時のボランティア活動への主体的な参画を目指す。併せて、平常時に市町村社協ボランティアセンターに繋がることで、各受講者の社会参加への地域デビューにつなげ、各興味のあるボランティアを通じて、災害時にもボランティアとして参画いただける繋がりをつくる。 <介護> 先入観や思い込みで相手を観るのではなく、正しく相手を理解する。そして、適切な支援を考える。また、今まで気づいていなかった自分の新たな一面を知るきっかけとする。		
<b>事前を知っておくべき内容・学習文献等</b>		
<防災> 阪神大震災以降の国内での大きな災害(地震・水害)、何があったのか事前に調べる。ハザードマップの確認(居住地・職場)。住んでいる地域での防災組織や防災の取組み、避難所について把握。 <介護> 各回の講座のなかで一緒に学べたらと思っています。		

## 令和3年度生涯現役クリエイティブセンター研修シラバス

<b>研修コースタイトル</b>					
農業人材育成コース 【農林水産部所管】					
<b>研修講師氏名</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践農家、農業法人</li> <li>・農業大学校 等</li> </ul>					
<b>研修趣旨・受講目的</b>					
<p>農業に関心のある方に対して各種の研修メニューを提供し、農業法人で農作業の支援や経営改善に寄与する人材から、自立的な農業経営者まで、広く農業に従事する人材を育成します。</p> <p>* 研修は希望に合わせて選択制となります。</p>					
	<b>テーマ</b>	<b>内容</b>	<b>開催期間</b>	<b>場所</b>	<b>備考</b>
1	農業入門セミナー	京都府における農業の現状や農業の基礎知識等を学習します。	秋～冬 * 1日間	京都市内 等	参加費無料
2	農業体験	農作業の流れや機械の扱い方について、実践農家からレクチャーを受けます。	随時 * 1～3日間	受入先農家	参加費無料
	インターンシップ	各地域の農業法人等によるOJT研修を通じ、集落営農への参画に必要な知識、技能を習得します。	随時 * 1ヶ月 (最大6ヶ月)	受入先農家	アルバイト雇用 (短期雇用) 形態による研修
	経営力向上講座	農業経営に必要な知識を学習します。	秋～冬 * 全5回程度	オンライン 等	参加費無料
	就農ステップイン講座	講義や野菜栽培の実習、就農者との座談会を通じて、栽培技術や農業機械の操作方法等を学びます。	8/29、9/12、 9/26、10/17、 11/7 * 全5回	農業大学校 (綾部市)	参加費 1000円
3	農業法人への派遣	企業に在籍しながら、派遣先の農業法人で生産や出荷業務、経営改善業務などに取り組みます。	随時 (最大24ヶ月間)	派遣先農業法人	フルタイム又は兼業等による短時間勤務
<b>このコースで目指す姿・修了後のあり方</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の実情や農業法人が求める人材像を理解し、必要な知識や技能を習得します。</li> <li>・企業で培ったノウハウを農業分野においても活用することで、集落営農組織等の経営力向上にも寄与します。</li> </ul>					
<b>申込先</b>					
<p>農業に関心のある方は生涯現役クリエイティブセンターに一度ご連絡ください。 (それぞれに合ったメニューや関係機関を御紹介します)</p> <p>お問い合わせ先：京都府生涯現役クリエイティブセンター</p>					



## 令和3年度生涯現役クリエイティブセンター研修シラバス

<b>研修コースタイトル</b>		
福祉人材育成コース【健康福祉部所管】		
<b>研修講師氏名</b>		
京都府介護福祉士会		
<b>研修趣旨・受講目的</b>		
<p>介護人材のすそ野を広げ、福祉・介護サービス事業や地域活動を支える人材を育成することを目的として、日常に役立つ介護の知識、介護職として必要な基本的な介護の知識・技術の実践的な手法等を学びます。</p> <p>※本コースは、京都府と開催地市町（精華町、宮津市）との共催で実施します。</p>		
<b>各日程内容</b>		
1	精華町 9月23日（木） 宮津市 11月18日（木）	介護に関する相談先や介護保険制度、介護予防等に関する知識を学習する。【9:30～17:00】
2	精華町 9月24日（金） 宮津市 11月19日（金）	介護技術の基本を学習するほか、老化について理解を深める。【9:30～17:00】
3	精華町 9月30日（木） 宮津市 11月25日（木）	障がいや認知症に対する基本的な知識、関わり方を学習する。【9:30～16:30】
4	精華町 10月1日（金） 宮津市 11月26日（金）	事故や感染症対策・対応等介護における安全確保について理解する。【9:30～12:30】 ※修了証授与、京都府福祉人材・研修センターの紹介含む
<b>このコースで目指す姿・修了後のあり方</b>		
介護の仕事に携わっていただいたり、地域の福祉ボランティアにかかわっていただくなど地域の福祉の担い手としての活躍を期待しています。		
<b>事前を知っておくべき内容・学習文献等</b>		
特になし		